



『五久会』だより 2007・1 第3号発行

会長挨拶

「五久会」会長 浅野益正



謹んで新年のご挨拶を申し上げます
 皆さまにはお元気で新しい年をお迎えのこととご
 拝察いたします。五久会だよりも二〇〇五年七月創刊
 号、二〇〇六年一月に二号を発行いたし、今回で二号
 の発行となります。この期間には皆さまの深いご理解
 とご支援により、最良の結果によって現在に至ってお
 ります。心よりお礼申し上げます。

五久会の推薦する内藤久歳君も、政治の世界に入り
 三年が過ぎようとしております。その流れの中で確実
 に一歩一歩を踏まえながら、その職務を誠実に履行し
 日々の行事に万全の態勢であたっております。今年が
 前進の年です。そして来年も前進の年です。そしてそ
 の翌年は勝利の年であります。これからはあくまで
 も、本拠地はさつき野区であります。地元の皆さま一
 人一人が指導者であり、前進基地であります。

何気なく過ぎていく日々ですが、時間は止まること
 なく流れていきます。私たちは今日を生き、明日に回
 かって生きて行きます。五久会も少しづつ変わって
 いく毎日に、一日一日がどんなに大切なことか、あつと
 という間に月が替わり年も替わる、当然のことながら
 各々心の中へしまいこんで前に進んでいます。
 新しい加入者も増え徐々に充実して参りました。
 これからも皆さまのご支援、ご協力のほど、よろしくお
 願い申し上げます。



新年のご挨拶

甲斐市議会議員

内藤 久歳



新年明けましておめでとうございます。
 希望に満ちた輝かしい新年を迎え、お慶びとお祝いを
 申し上げます。昨年四月に行なわれた甲斐市市議会議
 員選挙の折には地元「さつき野」をはじめ、近隣の日
 治会有志を中心とした方々のご協力と、市民の皆さま
 の御支援を賜り、当選させて頂き深く感謝すると共に
 厚く御礼申し上げます。これからも皆さまの期待に心
 えられるよう頑張っていく所存でございます。今後と
 もご指導ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。
 さて、甲斐市においては平成十八年から平成二十七
 年までの十年間の方向づけとして、第一次甲斐市総合
 計画構想が策定され、六つの街づくり基本政策が決ま
 りました。甲斐市の将来像である『緑と活力あふれる
 生活快適都市』の実現に向けて、市民と行政が一体と
 なって協働の精神で誇れる甲斐市、住み良い甲斐市の
 構築に市民の一人として、また議員として頑張ってい
 きたいと思っております。

平成十九年が皆さまにとりまして、幸多き年である
 ことを願い、新年のご挨拶と致します。

《議会活動報告》

在任特例の任期満了にともない平成十八年四月九日告
 示、四月十六日投票で行なわれた市議会議員選挙は
 合併協議会で協議し旧町議会で決定した定数は二十人
 でありましたが、平成十七年第四回定例会最終日に「甲
 斐市議会の定数を定める条例制定の件」が議員提出議
 案として提出されました。私も定数削減の賛成者とし
 て賛成討論を行ないました。無記名投票の結果、賛成
 二十七、反対二十三で採決され、議員定数二十八人で
 可決されました。四月十八日に当選証書授与式が行な
 われました。市民の代表として選出された議員として
 身の引き締まる思いと責任の重さを感じています。委
 員会構成は三委員会となり、私は建設経済常任委員会
 に所属し今議会より会派制となり、会員数十二名の「甲
 斐クラブ」に在籍することになりました。志を一つに
 して議会活動を行なっていきたいと思っております。

平成十八年第三回定例会において二項目について一般質問を行ない
 ました。

第一項目は「竜王駅周辺整備事業」について。(竜王駅周辺整備事業は
 平成二十三年度に全ての事業が完成する計画になっております)

二、平成十八年度事業執行状況について
 (答弁) 自由通路及び駅舎を平成二十年三月使用開始
 を目標に進め、周辺道路整備についても事業
 計画期間内の完成を目標に取り組んでいく。

三、用地取得状況について
 (答弁) 土地所有者五十一件中四十三件の契約締結と
 なりそのうち北口は、十二件中七件の締結が完了している

四、国道五十二号線竜王駅前交差点の整備計画について
 (答弁) 年内の都市計画決定を予定しており、関係機関と早期事業着
 手に向けて取り組む。

五、竜王駅舎の歴史的保存について
 (答弁) 駅舎だけでなく周辺地域の歴史などの記録を残すため、JR
 への協力依頼や広報などで地域資料の収集を行なっている

六、竜王駅発着の「特急かいじ」の増発について
 (答弁) 市民や利用者の利便性の向上を図ることから
 今後増発についても要請していく。

第二項目は「下今井地区農村工業団地」について。
 一、誘致企業の排水、水質管理について
 (答弁) 水質汚染を招く機械設備の使用はなく、生活
 汚水については浄化槽法に基づく法定検査を適正に行う。

二、市民の就業状況について
 (答弁) 誘致に伴う市民の就業機会は、十一月までに合わせて十一名
 の就職を把握している。

三、税制上の優遇措置について
 (答弁) 固定資産税優遇措置については現在適用できない状況にあり
 その他の優遇措置については市と県が助成する制度があり
 今議会に補正予算として計上し議決された。

四、税収見込みについて
 (答弁) 平成十九年度の見込額は固定資産税、法人税
 合わせて概ね七千万円を想定している。

五、造成に係わる暇底担保について
 (答弁) 事業の円滑な実施を図るため工業団地整備事業に関する協定
 書を取り交わし、協定外やその他の疑義が発生した場合につ
 いては誠意を持って協議し解決を図る。

私の政策取り組み課題である竜王駅周辺整備も順調に進んでおり、平
 成二十年三月には南北自由通路が完成する見通しになっております
 また双葉スマートインターの恒久化、及び響が丘地域の商業出店の増
 加により、交通量が激増している市道開発一号线の整備計画につい
 て、強力に推進し早期実現に向けて取り組んでいきたいと思えます



毎日毎日が平凡な生活であるが、私なりに自己満足している。それは蟹の論理のように、自己の甲羅を見てそれに合わせて穴を掘る、決してオーバーに掘ってはならないと思ひ、自身に言い聞かせて実行に移しているからである。また、我が家でも今まで以上に、より一層地方自治に関心を持ち、生活の一部であるよう努めている。例えば、マスコミで大きく取り上げられている、北海道の夕張市の自治体の破綻の問題等に大いに関心を寄せ、決して他人事ではない出来事として捉えている。これからは、あらゆる地区において、いかにその地域に根ざした政治が実践されるのかが求められている。我が甲斐市は一地域の小さな自治体に過ぎないが、地域に根ざしたリーダーを大切に育てなければならない。これは決して並大抵なことではないので、それをバックアップする後援会等の充実が求められる。それにはまず、基礎作りが何より大切であると思う。お互いに自覚し合いながら、共に活発な活動をし、『五久会』のバックアップに努めなければならない。各種情報交換を密にし、会員を増やすためのPRの充実、バーベキュー・小会合・小旅行等の各種行事の実施も必要である。JR竜王駅の再開発近代化等の完成を間近に控え、利用する人たちの期待も大きくなってきている。これらの期待に応えるためにも、『五久会』の一致団結を願う今日この頃である。

「懇親会に参加して」 塚田 多美子

九月十七日、市議会議員内藤久蔵氏の後援会「五久会」の懇親会が、敷島ワイナリーにおいて盛大に行なわれました。当日は曇りがちでまあまあ天気でしたが、五久会の方達によりバーベキューをはじめいろいろ用意され、初対面の方々とも親しく話がはずみ、持寄られたお手製のおにぎりやお漬物等ごちそうになり、和気あいあいとした集まりでした。子供さん達もにぎやかに福引をしたり、スイカ割りやカラオケ等、盛沢山の催し物に元気に飛びまわっておりました。内藤議員の掲げる「子ども達の健康と幸せ」の一端を見る気がいたしました。このような自然がいっぱいの中で育まれる心は素直で強いものだと思います。いじめによる悲惨な事件も起こらないと信じます。子供たちの育成にますますご活躍される事を願います。私は政治というものは難しいものと思いますが、自分の回りの事をよく見て、おかしいなと思うことを先ず考える事が大切だと思います。お忙しい議員活動を通して私たち住民との交流の中から見えてくる様々な問題を取り上げていただき、少しでもよい方向へ導いて下さるよう、よろしくお願い致します。

「五久会」懇親会
「バーベキュー」に参加しました！

「バーベキュー」に参加して」 雨宮 千晶

「五久会」のバーベキューに参加させて頂き、子供（娘）を含めてとても楽しい思い出になりました。両親や兄弟・・・と家族全員そろっての時間が何よりも貴重な事だと感じ、いつもと違う自然の中での環境で子供たちの笑顔や成長、そして意外な一面をのぞかせたり・・・（笑）そんな光景を見ながら家族そろって一日同じ時間を過ごせた事がとても嬉しかったです。今回このような機会を頂いた事にとても感謝しています。くじ引きやスイカ割りなど子供達と私達大人も一緒に笑って喜んで、そんな瞬間ひとつひとつを子供と一緒に過ごせた事が嬉しく、そしてこの当たり前のような事かとても大切な事だと改めて感じました。私達のような若い世代が安心して子供を産み、ゆとりを持って健やかに育ていく事が出来るように、地域子育て支援センターや児童家庭支援センターの施策について、総合的に推進することを望んでいます。特に、子育ての負担感が大きい低年齢児を中心とする保育所受入枠の整備など、保育サービスの充実、柔軟なサービス提供の推進や教育に伴う経済的負担の解消など、教育全体についての施策を総合的に展開していく事が、少子化への対応の観点からも効果的だと思います。少子化の原因のひとつでもある核家族化している現代ですが、五久会を通じて子供同士はもちろん私達大人も、同年代同士に限らず幅広くたのびのびと交流を持つことが出来、人と人との「つながり」の大切さを強く実感しました。そしてこの「つながり」を大きく、深くしていく事も重要なことだと思いました。最後に今回このような行事を催して頂いた事に感謝すると共に、内藤議員のこれからのご活躍を心から期待いたします。



2006年9月17日
「五久会」懇親会！
本日はお集まりいただきありがとうございます！
皆さん全員が家族です。
みんなで楽しみましょう！



『あなたと共に創る笑顔あふれる甲斐市』

皆さまのご意見お待ちしております！

発行責任者 浅野益正（五久会会長）
編集・発行 内藤ひさとし後援会事務所 甲斐市中下条 217-9 (TEL) 055-277-8001
内藤市議ホームページ URL <http://park22.wakwak.com/~hisa-naito/>